

12月号

第431号

いっしん

令和2年(2020年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653
メールアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

子のために
悩める親の
心にも
まされる神の
恵みかしこし
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神教

教祖様137年 教団独立120年 小倉布教135年 甘木布教116年
安武松太郎大人69年 安武文雄大人25年(式年祭11月23日) 加治木教会布教69年



「少年少女会チャレンジカード」

御大祭にて表彰

加治木教会少年少女会では、少年少女会連合本部が薦めている、五月から七月にかけて信心項目を設けて信行に取り組む「少年少女会チャレンジカード」に取り組ませていただきました。

少年少女会員の中の、五名が取り組むことができ、その「ロビー」は、全国信徒会の「信行取組み表」と一緒に十一月に教主金光様に御礼お届けされました。

加治木教会では、月迫蘭さん(中二)、有園彰真くん(小二)、有園華さん(小一)、永原佳歩さん(小一)、安楽泰成君(年長)の五名が取り組ませていただきました。

加治木教会の少年少女会員には、御大祭の立教神伝奉読後に表彰が行われ、神様のお下がりのプレゼントが授与されました。これからも、少年少女会のみんなが、親子で信心生活に取り組むことができるように、お祈り申し上げて行きますよう。

(4ページに関連記事)

少年少女会Cカード表彰…P1・4
中村哲医師記録ビデオ鑑賞会…P5～6

甘木親教会安武文雄大人25年祭…P2～3
子育てメモ…P7
教会行事…P8

甘木親教会 二代教会長 安武文雄大人 二十五年祭

十一月二十三日、小春日和の中、甘木親教会において二代教会長安武文雄大人二十五年祭が執り行われました。

コロナ禍対策のため、出社教会からは教師のみの参拝ということでしたが、安武文雄親先生にお世話になりお育てをいただいた人たちが、お礼を申しご恩にお報い申し上げる尊いご祭典でありました。



○ 靈祭のご祭主をお仕えられた安武秀信先生大口教会長は、祭主挨拶で次のようのお話し

されました。「昭和二十八年の九州全域における大洪水の時、北部九州だけで千名の方が亡くなっておられます。二代親先生はその時、筑後川河畔原鶴の小野屋旅館の靈祭に行かれて、まさに九死に一生を得られました。当時三

十才で、お父様の百太郎先生がお亡くなりになられた年齢です。その時お亡くなりになられていたら、今の親先生は、まだ一才三ヶ月だったのです。それから四十二年貴重な御用をなされました。最高・最善・最大のおかげを頂かれて『ご先代の信心を求め現わす』という姿勢で、神恩報謝の一念に尽くして行かれ、神様のご期待に應えて行かれました。まさに初代のお話しされた『生かしのいのある、助けがいのある氏子になれ』との、そのような生き方を貫いて行かれたと思います。私自身、また後続く者が、運命が変わるほどのおかけを頂いておきながら、神様のご期待に應えるような生き方ができておるかが問題だと思えます。」

(要点のみ)

○ ご祭典後の教会長挨拶で、安武道義親先生は次のようにご挨拶されました。

「コロナ禍の中、こういう靈祭が仕えることができ大変有難く思わせていただいております。前の親先生について『大変厳しい方だった』とか

『軍隊式でしたから』と言われる先生もおられました。それは、神様に向かっての厳しさであったと思います。二十七才で教会長になられ、子供たちをよそに連れて行くという暇もなかったようで、記憶にもありません。大学生の時に東京に姉と信栄先生(従妹)で来て、四人で日光に行ったことがあります。それが初めてであったと思います。厳しい中にもそういう面もありました。今日を迎えるにあたって何日か前からお供え



物が次々と届いていましたら、孫の一人が『そげん偉いとね』と言ったということですが、孫たちは知りません。祭典前の紹介の映像を見て少しは分かったかもしれない・・・。これからいっそう信心を進めてお役に立たせていただきたいと存じます。今日はご都合お繰り合わせ頂きこのようにご祭典をお仕えすることができ有難うございました。」

(要点のみ)



加治木教会 生神金光大神御大祭

仕えられる

十一月一日(日)加治木教会では、生

神金光大神御大祭が仕えられました。

鹿児島県での新型コロナウィルスの

感染者数はそれほどではありませんが、全国的には徐々に増加傾向

にあるため、対策に気をつけながら

の御大祭となりました。

前日の御用は、密接を避けるため

直会調理の御用はなく、お広前の掃

除と絨毯敷きという程度でした。

御神前にお供えされた見事な胡蝶

蘭・菊の大輪が色鮮やかに咲き、秋

らしい一日となりました。

ご祭典は、コロナ禍対策のため、

祭員の先生は二人でしたが御神前は

とつてもにぎやかになりました。

祭詞では、教祖様の長年にわたる

ご修行と、生神金光大神御取次の道

開きのご苦勞をお称え申し上げ、世

界の平和と、お道の発展、世界中に

蔓延しているコロナウィルス感染症

の一日も早い終息などがお願い申し

上げられました。

生神金光大神御大祭で少年少女会員の チャレンジカードの表彰がありました



※チャレンジ項目の三つ以上
できたら、大人がシールを
貼ってあげました。

御大祭 少年少女会 玉串奉奠 11月1日(日)

- チャレンジ項目**
- ★教会にお参りする
 - ★大きな声であいさつする
 - ★ゴミひろいをする
 - ★親とあとかたづけをする
 - ★ハミガキ、手洗いを
 - ★体そうをする
 - ★嫌いな食べ物を少なくする
 - ★日課通りに生活する
 - ★「けいこ」に挑戦する
 - ★家族とおはなしをする
 - ★幼稚園に早く行く
 - ★お掃除する



- チャレンジ項目**
- ★お结界をお願いする
 - ★教会広前で拝詞をあげる
 - ★家事を手伝う ★整理整頓をする
 - ★体を清潔に保つ ★ストレッチをする
 - ★食前食後、感謝をする
 - ★月のスケジュールを立て、生活する
 - ★技能トレーニングを積む
 - ★心に残った言葉(文章)を記録する
 - ★年下の子とお世話をする
 - ★親子の会話



加治木教会
御大祭 前日御用
コロナウイルス感染予防のため、
密接してしまう皆でのお直会作りの
御用はなく、少人数で絨毯敷きと掃
除などをおかけ頂きました。

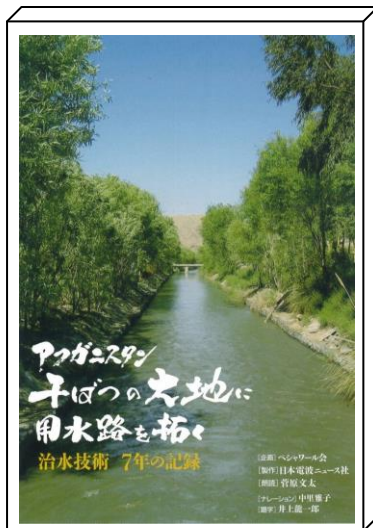
10月31日(土)
御大祭前日御用



中村哲医師

記録ビデオの鑑賞会

十一月二十日(金)加治木教会の立教記念祭・新穀感謝祭の後に、中村哲医師の記録ビデオの鑑賞会をさせていただきました。



金光図書館から貸し出していただきました『アフガニスタン 干ばつの大地に用水路を拓く』治水技術 七年の記録(中村哲)『ペンシャワール会発行』という記録ビデオでした。昨年十二月にアフガニスタンで銃撃され、七十三歳で亡くなられた中村哲医師は、同年八月(四か月前)に金光教本部の施設「光風館 やつなみホ

ール」で帰国報告会を開いておられます。

中村哲医師は金光教の信者さんではありませんが、何かのご縁があって、金光教本部の施設で帰国報告会を開かれたのでしようが「世界の平和と人類の助かりを願う金光教」とさえ謳われている金光教のご霊地を訪れてあったのは、願いとするところに同じ方向性があったと言えるでしょう。



加治木教会「立教記念祭・新穀感謝祭」の短めの教話後、加治木教会のお広前で、四十数分にわたる記録ビデオを鑑賞をさせていただきました。

内容は、DVDの表題の通り、戦乱の国アフガニスタンにおいて干ばつの大地に用水路を拓かれた中村哲医師の七年の記録ですが、その真摯さと深い真心に心を動かされない人はいないとさえ言える内容でした。

鑑賞される皆さんは、何度もうなずきながら涙ぐんで観ておられました。「大変な方ですね、涙なしには観られませんね」という声が聞かれました。

*

中村哲医師は、金光教の信者さんではありませんが、世界の平和と人類の助かりを願う金光教の方針と同じ向きの方であります。

また、中村哲医師は北九州市若松区のご出身で、北九州市には小倉教会をはじめたくさん教会があります。特に若松教会は、開教百二十年という歴史のある教会で、この地域には金光教の信者が多い地域であ



ここは若松から、戸畑に洞海湾を渡る、渡船場です。若松教会はこの左手方向にあります。また、甘木親教会の初代は、ご生家からここを船で渡って、小倉教会に向かわれました。

り、若松教会は、若松と戸畑を結ぶ渡船場(左写真)から三百メートルに位置し、若松でお育ちになられた中村哲医師は金光教のことは「存じではないはず」です。

また、十二月四日(金)「霊地の「金光やつなみホール」で、中村哲医師一周忌追悼イベント」として、「一隅を照らす」という、地域と金光図書館が協力して開かれる、対談イベントがあるそうです。

ペシャワール会会員の三原明子さんと、金光図書館長の金光英子(ひでこ)先生の対談だそうです。

中村哲医師一周忌 追悼イベント

～一隅を照らす～

事前
申込制



対談
ペシャワール会会員
三原明子



大谷 archive 代表
金光英子

35年にわたりパキスタンとアフガニスタンの人々の支援に取り組んできた福岡出身の中村哲医師。
2019年12月4日にアフガンで凶弾に倒れてから1年が経ちました。
「一隅を照らす」行動を続けた意志と足跡を受け継いでいくために、
また、中村氏の生き方と勇気を受け、
自分に何ができるか、自分はどう生きるかを考えるきっかけになれば幸いです。



中村哲医師
ペシャワール会副代表、PMN(ピース・ジャパン・メディア・サービス) 副社長、1946年福岡生まれ、九州大学医学部卒業、福岡市医師会を辞して、1984年パキスタン国内避難民(難民)ケア、パキスタンワシントン郡のペシャワールのミッション・センターを創設しパキスタン人がアブザブ・難民キャンプの医療を担当。その後、難民キャンプでアフガン難民の医療を担当。1989年アフガニスタン難民への医療活動が、山形県立総合医療センターで難民ケア活動に発展。1990年代後半、パキスタンで難民ケア活動が、山形県立総合医療センターで難民ケア活動に発展。

2000年から、早稲田大学で「アフガニスタンで難民ケア・難民キャンプケア活動」を2003年から農村復興のため人がかりな各別事業に携わる。2019年12月4日にアフガンで凶弾に倒れる。
(NHK NEWS 2020年2月28日)

日程: R2年 12月4日(金) 13:30~15:00 (13:00受付)

参加料: 無料 場所: 金光北ウイングやつなみホール 定員: 20名

お申込先: 大谷 archive お申込方法: 電話またはメール(メールの場合は住所、氏名、年齢を記載してください)

TEL: 0865-54-0995

E-mail: ohtani.archive@gmail.com

主催: 大谷 archive (R13年 金光町大谷294-7 (一般社団法人Amica事務所内))

＜プログラム＞

- ・中村哲氏活動紹介ビデオ視聴
- ・対談 (金光教本部教庁へ移動)
- ・活動写真紹介

※一部のみ参加も可能です。

あしあと(教会行事報告)

11月

1 (日) 月例祭(報徳) 加治木教会 御大祭 11時

7 (土) 大重家霊祭

9 (月) 清掃御用 10時

10 (火) 月例祭(天徳堂) 10時半
(生神堂)

12 (木) 甘木親教会御用(教会長)

19 (木) 清掃御用 10時

20 (金) 月例祭(天徳堂) 共励会 13時半
(万徳堂)

併せて 立教記念祭・新穀感謝祭
2代文筆夫人

23 (祝・月) 甘木親教会式年祭 二十五祭

25 (水) 連合会執行部会(教会) 10時半

29 (日) 東郷教会 津上繁子嬢三年祭

30 (月) 清掃御用



《子育てメモ》

第二次反抗期とは？

子供が精神的に成長するなかで「自立したい」という願望が強くなり、周りに対して反抗的な態度や行動をとる時期のことです。

十三歳頃から思春期に訪れ、この時期は自分の存在について思いを巡らせたり、問題が起きた時には自分で解決しようとしたり、精神的に自立しようとする大切な時期です。

親は過干渉にならず、じっくり話を聴く姿勢が大切です。

子供だった心が大人になろう、自立したいともがいている状態です。

そのため、過干渉な親よりも、年代的に近い先輩や指導者(リーダー)に共感し、あこがれを抱いて目標にするようになります。

この年代の特徴を生かした教育形態として、薩摩藩の「郷中教育」やイギリスで生まれた「ボーイスカウト」などが挙げられます。

また、映画ソング「スタンド・バイ・ミー」の歌詞のような「夜が訪

れて 大地は闇に包まれても 怖くない 君さえいれば 僕のそばにいてくれれば・・・」という少年時代特有の仲間意識もそうです。

*

そういう時期こそ、良い仲間や集団と交わり、教育されて行くことが望ましいことです。

「郷中教育」や「ボーイスカウト」、お道では「少年少女会」です。

そのため、大人の信奉者が気をつけなければならぬことは「少年少女会」は、子供だけを集めて遊ばせるのではなく、あこがれを持たれやすい、少しだけ年上の異年齢の指導者がお世話をすることです。

「少年少女会」のOB・OGの皆さんが、若いうちに使命感を持って少年少女会の指導の御用に当たらせていただくべきであります！



ご霊神様のおまじ

十二月

- 吉屋正憲 之霊神(2日) 平成11年
- 本中野キン 之霊神(7日) 昭和10年
- 大山キク 之霊神(7日) 平成7年
- 小屋敷シゲ 之霊神(7日) 平成8年
- 柳園市次郎 之霊神(8日) 昭和25年
- 本中野重盛 之霊神(8日) 昭和39年
- 大山叶人之霊神(14日)
- 徳永盛常 之霊神(18日) 平成2年
- 村上忠夫之霊神(20日) 昭和48年
- 大山スエケサ之霊神(24日) 昭和51年
- 大山きよ子 之霊神(28日) 昭和43年
- 吉屋キミ 之霊神(30日) 平成22年
- 前田キミ之霊神 昭和43年



「先祖のご霊神様の、現世・幽界(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。」

十二月三日(木)

甘木親教会

生神金光大神御大祭

【教師のみの代表参拝】

十二月三十日(水) 十三時半より

加治木教会

越年祭 奉仕

越年祭、御礼・お願いの記入用紙を
ご記入の上、御結果にお届け下さい。

一月一日(祝) 正午より

加治木教会

元日祭 奉仕

「」祭典・教話後、福引。

熊本県南部(人吉)豪雨

復興支援活動実施中

支援金募集中

※災害対策支援金箱にもごとうぞ。

教会行事

12月

- 1 (火) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (木) ●甘木親教会御大祭
- 9 (水) 清掃御用 10時
- 10 (木) ●生神金光大神様 月例祭 10時半
- 13 (日) 御本部布教功労者報徳祭 (参拝は未定)
- 15 (火) 連布教協議会 (鹿児島教会) 10時半
- 21 (木) 清掃御用 10時
- 22 (金) ●月例祭・共励会 13時半
- 29 (金) 清掃御用 10時
- 30 (土) ●越年祭 13時半

布教七十年奉迎(令和三年) 改まりの願い

自己中心の信心から
親神様の御立場に立った信心に、
親神様を使う信心から
親神様にお喜びいただき
ご安心いただく信心に、
おかげを信じる信心から
親神様・ご神慮を信じる信心に、
改まらせていただく。

令和三年

1月

- 1 (祝) ●元日祭 正午
 - 3 (日) 甘木親教会年頭参拝
 - // ※光風館予約日 10時
 - 5 (火) ★少年少女会「鏡開き」10時半
 - 9 (土) 清掃御用 10時
 - 10 (日) ●月例祭 (生神金光大神様) 10時半
 - 併せて 成人感謝祭
 - 21 (木) 清掃御用 10時
 - 22 (金) ●月例祭・共励会 13時半
 - 24 (日) 連合会定期総会 (鹿児島教会にて) 10時
 - 31 (日) 清掃御用 10時
- 《未定行事》青年会・若婦人会

二月十一日〜二月十九日

報徳祭 奉迎

寒中一斉信行

ご祈念・研修 午前五時十五分・午前十時

加治木教会布教七十年記念大祭は、
令和三年五月三十日(日)と決まりました。